

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		利用定員10名に対して、指導訓練室等のスペースが89.43㎡あり、基準を満たしているが、集団活動や地域交流行事で町民を招く際は狭く感じ、会館を利用する等工夫している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			常時3～4人配置している。
	③	職員の専門性は適切ですか	○			職員は社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、保育士、教員免許等の有資格者がおり、定期的に専門性の向上を図る研修も実施している。
業務 改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			常に職員間で話しやすい環境づくりを意識しており、常勤、非常勤を含め、支援の目的を常に共有している。
	⑤	保護者等向け評価票を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年1回アンケートを実施し、意向把握に努めている。また、送迎時や電話・メール連絡、面談を通し保護者の意向を把握できるよう努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ上で公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による外部評価は未実施であるが、他事業所よりコンサルテーションを受け、業務改善に努めている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			非常勤職員を含め、自社で発達障害の理解をテーマに研修を実施している。また、定期的に外部での勉強会に参加し、資質向上に努めている。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別支援計画を作成し、保護者面談を行っている。お子さまのニーズを聞き取り、活動に取り入れ、行事として実施したケースもある。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			診断書や検査結果を保護者から頂き、また行動観察行いアセスメントを行っている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			常勤、非常勤を含め、意見交換を行っている。
	⑫	活動プログラムを固定化しないよう工夫しているか	○			毎回一人ひとり個別のスケジュールを立て、目標の達成度に合わせ工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇では他事業所との行事を通じた交流や社会科見学、就労体験等に外出等の活動を行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別スケジュールで個々の目標や余暇、SSTプログラムを組み合わせ、個別活動と小集団活動を充実できるように努めている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			役割分担やプログラム、一人ひとりの関わり方の共通理解等を毎日確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○			業務日誌を記入し、業務終了後や次の日の業務前に振り返りや今後の支援について話し合いを行っている。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎日、業務日誌を記入し、打ち合わせ時や支援計画の作成時に活用している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6か月ごとに、児童の成長や新たな課題について、職員間で共有検討し、内容の見直しを行っている。必要に応じ、6か月未満でも、計画の見直しもを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○		施設内外の活動のバランスに配慮し、社会性を育てることを大きな共通課題としている。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		相談支援事業所と密に連携し、担当者会議には管理者や主任指導員が参画している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		学校と連携し、情報共有や連絡調整に努めている。
	㉒	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		地域の病院と協力医療協定を結び協力している。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		相談支援事業所や児童発達支援事業所と連携し、情報共有や支援の相談を行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それ場での支援内容等の情報を提供する等しているか	○		開設以降、移行する場面が無いが、今後のケースに向けて、スムーズな移行のために、地域の就労事業所等と交流・見学し、資源の把握や連携に努めている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		定期的に施設長会議に参加し、情報共有している。センターの方からの助言をいただいたり、センター主催の研修を受講している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか	○		町内会行事に参加した際に、町内のお子さまと活動に参加している。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		室蘭市自立支援協議会こども部会・相談支援部会に参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳やライン連絡、送迎時を利用し、家庭での様子、施設での様子を共有している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		日々の様子を共有をする中で、保護者の悩みや課題に寄り添うよう努めている。
保護者への	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明し、連絡帳や送迎時を利用し再度確認・説明している。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		送迎時や連絡ノートなどで把握し、必要に応じ面談や電話で話を聞き、支援を行っている。
	㉒	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		児童が主体となって活動する行事に、保護者を招き交流できるようにしてきたが、今年度保護者会の実施はできなかった。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		発生した際は、職員間で発生原因と改善策を共有し、迅速に対応できるよう責任者を配置し体制整備している。

説明責任等	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月、活動内容やお知らせ、調理やレクリエーション予定等の広報を発行している。
	③5	個人情報に十分注意しているか	○		データや個人情報は鍵付キャビネットに保管している。
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		子どもの行動の前後の様子や環境、個々の特性から思いを読み取るように努め、子どもからも発信しやすいようコミュニケーションカードを利用している。
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		二か月に一回、高齢者宅見守り活動を実施している。年末には、高齢者を招き、サロンを実施している。今年度は、年末に高齢者宅に年越しそば配りも行っている。
非常時の対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		策定し、定期的に職員で確認し、事業所内にも掲示している。
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そのほか必要な訓練を行っているか	○		年2回の訓練を行い、職員間ではマニュアルの確認を行っている。避難訓練週間を実施し、一週間毎日、子ども達と様々な場面を想定し、訓練を行っている。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止規程を作成し、職員へ周知するとともに、社内研修も実施している。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		身体拘束禁止規程を策定し、職員へ周知している。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		医師の指示書については保護者を介してもらっている。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		作成し、事故防止に努めている。